

各部局

省エネルギー推進責任者 殿

副学長(環境・施設担当)

山下 敬彦

今夏の省エネルギーパトロールの結果について (報告)

今夏の省エネルギー目標 (電力量を平成27年度比1.0%以上削減 ※目安として、最大電力を平成27年度比1.5%以上抑制) の達成に向け、適切に省エネルギー活動が行われていることを確認するため、省エネルギーパトロールを実施しましたのでその結果を報告します。

(対象団地：文教町2団地、坂本1団地、坂本2団地)

(実施期間：平成28年7月11日(月)～平成28年7月15日(金))

各部局においては、省エネルギーに関する取組の実態と改善すべき事項を認識し、**教職員・学生への周知徹底の強化**を図るようお願いいたします。

1. 省エネパトロール実施結果 (総括)

確認項目	改善すべき事項	改善策
1. 空調機の無駄な運転はないか	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>無人にも関わらず運転</u>されている講義室・リフレッシュルームが複数あった。 ・<u>扉を開放したまま運転</u>している室があり、廊下に冷気が逃げている建物があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチ付近に空調運用ルール、省エネルギー対策書、ポスター等の表示を行う。 ・温湿度計を設置し、体感に捉われずこまめな室温管理を行う。 ・集中リモコンを使用可能な建物は、講義時間帯以外の時間帯の停止設定、温度制御設定を行う。
2. 冷房は適切な温度管理がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・講義室の<u>温度計の設置状況</u>は徹底している部局もあれば、全く設置していない部局もあり<u>状況に差が見られた</u>。 ・貼紙等を徹底しているリフレッシュルームであるにも関わらず、学生により<u>低い温度に設定変更</u>されていた。 ・<u>温度設定を全く守っていない建物があった</u>。 	
3. 冷房効果を高める工夫をしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・換気の際に室内の涼しさを再利用する<u>全熱交換換気モード</u>を使用せず、普通換気モードを使用している室があった。 ・<u>フィルタの清掃</u>がされていない空調機は一部であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房中に全熱交換機を使用することで、約20%の節電効果がある。普通換気は、中間期のみの使用とする。 ・定期的なフィルタ清掃を行うことで、約5%の節電効果がある。
4. 不要な箇所の照明は消灯しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>無人にも関わらず全灯</u>している講義室・研究室があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義終了時に、最終退出者は照明・空調を切って退出するように呼掛けを行う。
5. 待機電力(ベース電力)削減のための取組状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>暖房便座の切設定</u>は部局間で取組に差が見られた。 ・無人のパソコン室において<u>ディスプレイの電源が入のまま</u>の端末が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房便座の切設定による節電…20台切で約1kW(ドライヤー1台相当)の節電効果がある。 ・待機電力削減のために、スイッチ付OAタップを導入し、不使用時のスイッチオフを徹底する。
6. エレベータの使用状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・各部局が独自に貼紙等を行い、階段使用を促すよう徹底されていた。 	
7. 各部局が作成した省エネルギー対策書のおり対策がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・各部局から提出された省エネルギー対策書との<u>相違が見受けられた</u>が、以前よりも改善されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチ付近へ省エネ関連の掲示をしている室の取組状況は全般的に良好であったため、掲示による周知は有効と考えられる。 ・常日頃から、学生への呼掛けを行う。

(別紙1：部局別報告書、別紙2：省エネパトロール写真集)

省エネパトロール部局別報告書

確認項目	巡視日 部局等	7月15日	7月15日	7月15日	7月15日	7月15日	7月15日	7月15日	7月15日	7月15日	7月15日
		学生支援施設(部室)	薬学部	水産学部	図書館本館	事務局	教育学部	環境科学部	全学講義室	工学部	多文化社会学部
1. 空調機の無駄な運転はないか。 (無人の室で空調が運転されていないか等確認)	確認事項	・無人の室は停止されていた。	・全般的に良好であった ・一部無人のリフレッシュルームで運転されていた。	・空調機を使用しない時間帯を定め、取組を強化している。 ・無人の講義室で空調機が運転されていた。	・無人の室及び事務室は停止されていた。	・無人の室は停止されていた。	・無人の室は停止されていた。	・無人の室は停止されていた。	・無人にも関わらず、扉を開放した状態で冷房されており、さらに、室温は25℃となっていた。	・無人の複数の講義室において扉を開放した状態で冷房されており、さらに、室温は25℃となっていた。	・無人の室は停止されていた。
2. 冷房は、適正な温度管理がなされているか。 (温湿度計・ステッカー等により室温管理されているか)	確認事項	・体育館管理人室、サークルセンター、音楽練習室に温度計が設置されておらず、設定温度も低かった。	・事務室は、温度計が設置され室温28℃を目安に運転されていた。 ・講義室・リフレッシュルーム等の室温管理については、掲示により周知を図っていた。 ・リフレッシュルームに温度計が設置されていなかった。	・講義室・リフレッシュルーム等の室温管理については、掲示により周知を図っていた。	・閲覧室壁に設置した温度計により管理されている。 ・空調スイッチに操作禁止の表示を行い、職員のみが操作するようにしている。	・事務室内は温度計も設置され、貼紙もなっていた。 ・会議室に温度計が設置されていなかった。	・リフレッシュルームについては、温度計も設置され、貼紙もなっているが、学生により、温度設定を低い温度に変更されていた。	・温度ステッカーを一括購入し各研究室に配布されていた。	・講義室への温湿度計の設置が徹底されていた。 ・温湿度計の電池が切れている室があった。	・講義室に温度計が設置されていなかった。 ・室温の目安について、空調スイッチに貼付されていた。	・講義室に温度計が一切設置されておらず、設定温度の目安についても表示されていなかった。
3. 冷房効果を高める工夫をしているか。 (換気の全熱交換モードの使用状況の確認) (扇風機の併用 直射日光対策等)	確認事項	・全熱交換モードの使用は徹底されていた。 ・事務室では扇風機を併用していた。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・全熱交換モードの使用は徹底されていた。 ・事務室では扇風機を併用していた。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・事務室にシーリングファンを設置し室内温度の均一化を図っていた。 ・フィルタ清掃は実施されていたが、パソコン室のフィルタのみ清掃されていたなかった。	・全熱交換モードの使用は徹底されていた。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・全熱交換モードの使用は徹底されていた。 ・ファン機を併用していた。 ・フィルタ清掃は実施されていた。 ・フラインドにより空調負荷を低減していた。	・全熱交換モードではなく、普通換気を使用している室があった。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・全熱交換モードの使用は徹底されていた。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・無人にも関わらず、扉を開放した状態で冷房されており、さらに、室温は25℃となっていた。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・無人にも関わらず、扉を開放した状態で冷房されており、さらに、室温は25℃となっていた。 ・講義室においては、ブラインドを閉め、窓から入る熱負荷を低減していた。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・全熱交換モードではなく、普通換気を使用している室があった。 ・フィルタ清掃は実施されていた。
4. 不要な箇所の照明は、可能な限り消灯しているか。 (無人の室で点灯していないか等確認)	確認事項	・サークルセンター1廊下照明の有感センサーが解除され連続点灯となっていた。	・全般的には部分消灯が徹底されていた。	・全般的に部分消灯が徹底されていた。 ・無人の講義室で照明が全灯していた。	・不要な箇所の消灯は徹底されていた。	・無人の室は消灯されていた。 ・プルスイッチによる小まめな消灯がなされていた。	・無人の室は消灯されていた。	・無人の室は消灯されていた。	・無人にも関わらず全灯している講義室が複数あった。	・無人にも関わらず全灯している講義室が複数あった。 ・事務室においては、プルスイッチによる部分消灯が徹底されていた。	・不要な箇所の照明は消灯されていた。
5. 待機電力(ベース電力)削減のための取組状況について。 (スイッチ付OAタップの普及状況の確認。長時間使用しないと思われる電気機器の状況。使用していないパソコンの電源の状況、暖房便座の切設定の状況)	確認事項	・暖房便座が入りとなっていた。 ・冷蔵庫設定が強となっていた。	・暖房便座が入りとなっていた。	・暖房便座の切は徹底されていた。 ・パソコン室のディスプレイ電源入りの端末が複数あった。	・暖房便座が入りとなっていた。	・暖房便座の切は徹底されていた。 ・スイッチ付OAタップの導入状況については差が見られた。	・暖房便座の切は徹底されていた。	・暖房便座の切は徹底されていた。 ・トイレブース内に節電のために暖房便座を切っている旨表示をしていた。	・暖房便座が入りとなっていた。 ・パソコン室において不使用中のディスプレイの電源入りが複数あった。	・暖房便座が入りとなっていた。	・暖房便座が入りとなっていた。
6. エレベータの使用状況について (貼紙等により、階段利用を促しているか。)	確認事項	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・エレベータなし	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。

省エネパトロール部局別報告書

確認項目	巡視日 部局等	7月17日	7月17日	7月17日	7月17日	7月17日	7月19日	7月19日	7月19日	7月19日
		図書館医学分館	熱帯医学研究所	医学部	遺伝子実験施設	原研施設	医学部保健学科	医学部(病院本館)	病院	歯学部
1. 空調機の無駄な運転はないか。 (無人の室で空調が運転されていないか等確認)	確認事項	・温度計を確認しながらこまめな調整が行われていた。	・空調スイッチに設定温度のテプラ表示を行い徹底されていた。 ・一部において設定温度を低くされているところがあった	・無人の講義室で空調機が運転されていた。 ・無人の室で空調機を運転している室が複数あった。	・無人の室は停止されていた。	・無人の室は停止されていた。	・無人の室は停止されていた。 ・教職員においては、空調機を可能な限り運転しないように努めていた。	・無人にも関わらず、運転している室が複数あった。 ・扉を開放して空調機を運転している室が複数あった。	・全館室温の管理が徹底されていた。	・無人のリフレッシュルームで運転されていた。
2. 冷房は、適正な温度管理がなされているか。 (温湿度計・ステッカー等により室温管理されているか)	確認事項	・温度計を確認しながらこまめな調整が行われていた。	・温湿度計を一括購入し各研究室に配布されていた。	・温湿度計を一括購入し各研究室に配布されていた。 ・全講義室のスイッチ付近に貼紙により学生への周知を図っていた。 ・室温が低い室が複数あった。	・温湿度計は設置されていた。	・温湿度計を一括購入し各研究室に配布されている。 ・多くの室において、設定温度28℃での運用を徹底されていた。	・講義室も含めて温度計は設置されていた。 ・講義室の室温がやや低かった。	・多くの部屋の設定温度が24～25℃となっていた。	・温度計は設置されていた。 ・温度センサにより集中管理し、室温の調整が徹底されていた。	・講義室、自習室に温度計が設置されていなかった。 ・室温が24～25℃の自習室が複数あった。 ・全講義室のスイッチ付近に貼紙により学生への周知を図っていた。
3. 冷房効果を高める工夫をしているか。 (換気の全熱交換モードの使用状況の確認) (扇風機の併用 直射日光対策等)	確認事項	・全熱交換モードではなく、普通換気を使用している室があった。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・事務室にシーリングファンを取付、室内温度の均一化を図っていた。 ・全熱交換モードではなく、普通換気を使用している室があった。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・複数の室で、扉が開放されたまま運転されていた。 ・フィルタ清掃は実施されていた。	・フィルタ清掃は実施されていた。	・フィルタ清掃は実施されていた。	・フィルタ清掃は実施されていた。	・扉を開放している室が複数あり、廊下に冷気が漏れていた。	・事務室において扇風機を併用していた。 ・フィルタの清掃は実施されていた。	・全熱交換モードの使用は徹底されていた。 ・フィルタ清掃は実施されていた。
4. 不要な箇所の照明は、可能な限り消灯しているか。 (無人の室で点灯していないか等確認)	確認事項	・不要な箇所の照明は消灯されていた。	・不要な箇所の照明は消灯されていた。	・無人で点灯している室が複数あった。 ・事務部門においては、プルスイッチを利用した部分消灯等が徹底されていた。	・無人の室は消灯されていた。	・廊下の照明は、日中消灯し、夜間のみ人感センサで点灯するように運用しており、徹底されていた。 ・平成27年度に、部局予算により廊下照明のLED化を行った。	・廊下の消灯が徹底されていた。	・研究室、リフレッシュコーナーとも無人で全灯している室が複数あった。	・昼光を利用した減灯等が徹底されていた。 ・スイッチに減灯シールを貼付けることにより徹底されていた。 ・プルスイッチを利用した部分消灯が徹底されていた。	・執務に影響ない範囲で照明のランプを抜いて部分消灯していた。
5. 待機電力(ベース電力)削減のための取組状況について。 (スイッチ付OAタップの普及状況の確認。長時間使用しないと思われる電気機器の状況。使用していないパソコンの電源の状況、暖房便座の切設定の状況)	確認事項	・暖房便座が入りとなっていた。	・暖房便座の切は徹底されていた。	・暖房便座が入りとなっていた。	・暖房便座の切は徹底されていた。 ・暖房便座の切は徹底されていた。	・暖房便座の切は徹底されていた。	・暖房便座が入りとなっていた。	・暖房便座が入りとなっていた。	・患者さんが使用するトイレも含めて、暖房便座の切は徹底されていた。	・暖房便座が入りとなっていた。
6. エレベータの使用状況について (貼紙等により、階段利用を促しているか。)	確認事項	・貼紙により階段利用を促していた。 ・英語表示もされていた。	・貼紙により階段利用を促していた。 ・英語表示もされていた。	・貼紙により階段利用を促していた。 ・エレベーター内に、医薬業オリジナルポスターを掲載していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。	・貼紙により階段利用を促していた。

省エネパトロール写真集



スイッチ付近に空調運用ルール掲示し、温湿度計を設置している

教育学部 リフレッシュルーム



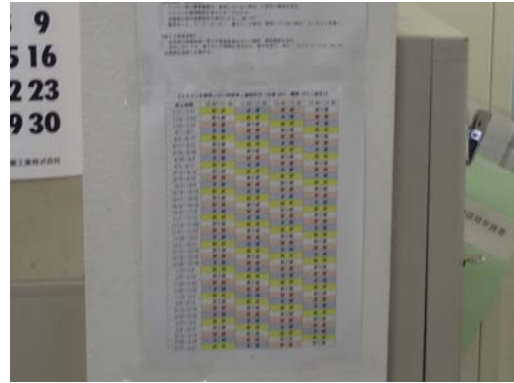
空調スイッチは職員以外操作禁止としている
温湿度計を設置しこまめな室温管理を行っている

図書館 閲覧室



スイッチ付近に省エネ対策書省エネポスター温度ステッカーを設置している

総合教育研究棟 研究室



空調機を使用しない時間帯の設定等により、平成26・27年度は平成25年度比約10%の電力量を削減した

水産学部 空調機運用



シーリングファンを設置し、室内温度の均一化を図っている

水産学部事務室 シーリングファン



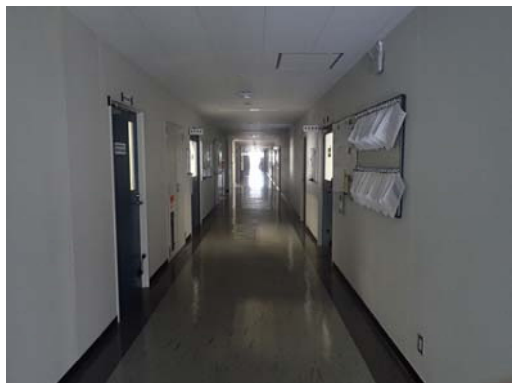
換気扇スイッチに、空調機使用時は全熱交換換気を使用するように表示している

事務局 換気運用



ブラインドを閉めることにより窓から入る熱負荷を低減し空調電力を抑制している

工学部 講義室



廊下照明消灯の徹底
部局財源により廊下照明をLED化し夜間は人感センサで点灯するよう整備している

原研施設 廊下消灯・LED化

省エネパトロール写真集



不要な箇所の照明はプルスイッチによる消灯を徹底している

病院 事務室



建物全体の減灯が徹底されている

病院 照明間引き



時間帯により減灯するスイッチに表示を行い、建物全体において徹底されている

病院 照明減灯表示



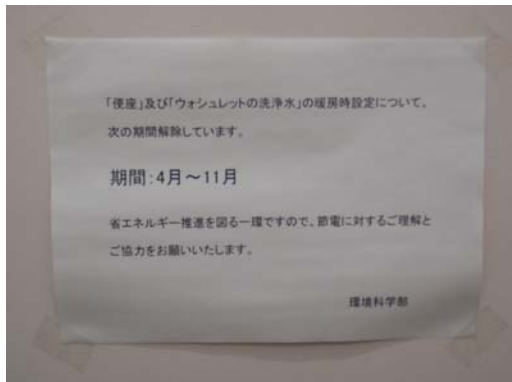
各機にスイッチ付OAタップを設置し、待機電力削減を簡便化している

事務局 事務室



暖房便座の電源コンセントを抜き、待機電力を削減している

遺伝子実験施設 暖房便座切



省エネのために暖房便座を切設定中である旨、トイレブース内に表示している

環境 トイレブース内掲示



貼紙により階段使用を促している
英語表示を行っている

図書館医学分館 エレベータ



省エネルギー対策書に加え、オリジナルポスターを各所に掲示し周知を図っている

医学部基礎研究棟 エレベータ内掲示